

画像解析による自動威嚇システム

概要

- 現場が抱えるカラスによるゴミ散らかし、電線下や駅ホームでの糞害、農作物食い荒らし被害、ソーラーパネル破壊(ガラス部分)、人への攻撃等の課題について、弊社独自の画像認識技術を応用し、自動でカラスを認識後、緑色レーザーを照射する事で追い払いを実現する「画像解析による自動威嚇システム」を開発中。
- レーザーポインターはPSC安全基準を満たしているものを使用。
- 本システムは、画像解析および照射の精度が非常に重要となり、現在、精度向上に向けて検討中であり、2020年度中に日本での実証実験を目指し開発中。

導入効果

- 本システムの導入により、繁華街や住宅地などのゴミ散らかし軽減、電線下や駅ホームでの糞害軽減、農作物食い荒らし被害軽減、メガソーラーシステムでのパネル破壊減少、都市部でのカラスの人への攻撃などが軽減され、人間とカラスとの共生が可能。
- 本システムは、カラスのみでなく、河川等でアユ等の食害被害を引き起こすカワウなどの鳥への応用も可能。



○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	内水面漁業 (99) その他
技術ニーズ	鳥獣害被害
具体的なニーズの内容	ドローンによるカワウ、サギ類の自動追い払い技術や画像解析による自動威嚇システムの開発

○開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	
一般販売中	
その他	

☎連絡先

CMエンジニアリング株式会社
 デザインサービス事業部
 営業部 営業企画チーム
 TEL:03-6420-0946
<https://cmengineering.co.jp/>
cme-sales@cmengineering.co.jp

情報記載日:2019年11月17日

